

教育

大目標：医科大学として、多職種と連携できる視野の広い医師の育成に努め、世界の医療や社会を支える未来の医療人を輩出する。

※テーマをクリックいただきますと詳細をご確認いただけます。

テーマ	SDGs該当目標	2024年度実績
卒前教育における「多職種連携に必要な能力」に関わるカリキュラム	  	■9月14日(土)に昭和薬科大学、東京純心大学との多職種連携教育セミナーを対面形式にて開催。 ■今回も田園調布学園大学の参加は見送られた。スケジュールや参加学生の人数等の問題で今後も参加は難しいと考えられる。 ■今年度は課題シナリオ用動画を各学部ごとに作成し、実際の医療現場でのリアルなやりとりを再現した。職種ごとそれぞれ問題点を話し合い、それを共有するといったプロセスを試行した。 ■昨年度同様に、各大学の学生や指導教員からのアンケート結果は次年度に反映するべく、担当する部会、関係する委員会で検討していく。
卒前における「学生同士の国際交流」に関わる活動	  	■WHO理事長中村安秀先生との座談会(2024年12月) ■学長による協定校への表敬訪問 (台湾、タイ：2024年10月、インド：2024年10月11月) ■国立成功大学医学部長の表敬訪問 ■SMU English Caféでの受入留学生の実習修了式および派遣留学生による実習報告会 ■協定校への学生派遣 11名 (コンケン大学:タイ、高神大学：韓国、朝鮮大学：韓国、国立成功大学：台湾、NITTE大学：インド) ■協定校からの留学生受入れ 6名 (コンケン大学：タイ、国立成功大学：台湾、同済大学：中国) ■協定校以外の大学からの留学生受入れ 14名 (トーマスジェファソン大学：米国、慈済大学：台湾、クレルモンオーベルニュー大学：フランス、ウッチ医科大学：ポーランド、グダニスク医科大学：ポーランド、ヴロツワフ医科大学：ポーランド、セゲド大学：ポーランド、マサリク大学：チェコ、カレル大学：チェコ、インドネシア大学：インドネシア、北京大学：中国)

※テーマをクリックいただきますと詳細をご確認いただけます。

テーマ	SDGs該当目標	2024年度実績
未来の医療を創る“医療人2030”育成プロジェクト	    	■本プロジェクトの登録者数は2,200名 ■医療領域におけるAIの最新情報を得る【Basic 医療AI最新事情】を全12回開催 ■日本を代表する多彩な講師陣に直接質疑応答ができるという類を見ないプログラム【Core 医療人2030育成プログラム】を全12回開催 ■次世代の医療機器・アプリ、サービスについてのアイデアを具現化する【Empower次世代医療を創る個別プログラムMIRAI】を17名が受講し、事業化に向けてそれぞれのビジネスプランのブラッシュアップを実施 ■MIRAI卒業生が、健康診断領域およびリハビリテーション領域で、会社を設立。並びに事業化に向けた公的資金を獲得
持続開発可能なための教育(ESD)の実践	 	■前年度と同様に、ESDを選択制の授業として3回実施した。 1回目はSDGsの概要、本学における取り組みの紹介等について座学形式の講義を行った。2回目、3回目はそれぞれ「聖マリアンナ医科大学がSDGsに取り組むとしたら、どんなことができるでしょうか?」、「聖マリアンナ医科大学でSDGsに取り組むために必要なもの」をテーマとしたスモールグループディスカッション(K-J法)を行った。ディスカッションの中では、本学でSDGsに取り組むために必要なものとして「SDGsの意識、知識、態度」、「資金」、「指導者」、「時間的、精神的なゆとり」といった項目が挙げられた。